IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

020号
2018年
12月14日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN



▲昨年の初雪の様子。
平成29年11月16日撮影！

平成３０年１１月２３日（金）、初雪が降った津軽ダムと津軽白神湖を岩木川ダム統合管理事務所2階から撮ったスナップになります。例年だと、初冬の津軽ダム周辺の山々に広がる深まる紅葉の“赤や黄”、新雪の“白”、澄み渡った空の“青”が非常に美しいコントラストを醸し出します。

昨年に比べ約一週間遅い初雪と、一気に冬が訪れたことにより、この時期しか見られない美しく絶妙なコントラストに映える“津軽ダム”をタイミングよくカメラに収める事ができず、撮影の難しさを痛感しました。

今年は、白神山地が世界自然遺産に登録されてから25周年の記念すべき節目の年であり、昨年4月から津軽白神湖で運行を開始した水陸両用バス“津軽白神号”の累計乗車人数も2万7千人を突破し、益々勢いに乗る津軽ダム立地村“西目屋村”です。来シーズンの水陸両用バスの運行も今から待ち遠しいです！



津軽ダム
イメージキャラクター
ペッカー君

岩木川改修100周年記念事業

“岩木川シンポジウム”

～　岩木川の100年を振り返り、地域の宝・岩木川を考えます　～



▲１世紀にわたる岩木川の歴史を振り返り未来への在り方を討議した「シンポジウム」



▲八戸工業大学大学院
佐々木教授による「基調講演」



▲“オープニングアトラクション”
津軽三味線演奏

平成30年 100周年 岩木川改修事業

大正7年から始まった岩木川の国直轄による本格的な治水事業が、今年で100周年の節目の年を迎えることを記念し、平成３０年１２月１日（土）五所川原市ふるさと交流ホール『オルテンシア』において、“岩木川シンポジウム”が開催されました。

当日は、大粒の雪が降るあいにくの天候にも関わらず、約400名の来場者が訪れ、あらためて『津軽平野を潤す“母なる川”岩木川』がもたらす多くの恵みに対する関心の高さをうかがい知ることができました。

プログラム前半では、八戸工業大学大学院佐々木幹夫教授が、『岩木川の歴史と改修の歩み』と題して講演。佐々木教授は、「一世紀にわたる水害の歴史と岩木川河口に建設された“十三湖水戸口突堤”の完成が岩木川流域に生活する人々に大きな恵みと安全・安心をもたらした」と重要な役割を担っていることを説明しました。

後半は、東奥日報社弘前支社の石鉢編集部長がコーディネーターを務め、『地域の宝・岩木川を未来へ継承し、未来へ発信する』と題しパネルディスカッションが行われました。5名のパネリストは、各々の視点で、観光・防災・岩木川を活用した物流などの意見を活発に討議し、未来へ向けての実りある100周年記念シンポジウムとなりました。

コーディネーター



東奥日報社弘前支社
編集部長　**石鉢　康範氏**

コメンテーター



八戸工業大学大学院
教授　**佐々木　幹夫氏**

パネリストの皆さん



特定非営利活動法人
青森県防災士会
代表理事　**小山内　敬子氏**



弘前路地裏探偵団
団長　**鹿田　智嵩氏**



五所川原市観光物産課技能技師
立佞武多製作者　**福士　裕朗氏**



弘前大学農学生命科学部
教授　**東　信行氏**



国土交通省東北地方整備局
河川部長　**高村　裕平氏**

第48回 にしめや“村民文化祭” 開催

～ テーマ『努力と絆あふれるスマイル』～

平成３０年１１月１８日（日）西目屋村中央公民館において、**“第４８回西目屋村民文化祭”**が開催されました。岩木川ダム統合管理事務所は、津軽ダム・浅瀬石川ダムに関するパネル展示で参加し、村民文化祭を盛り上げました。

西目屋村の一大イベントでもあるこの文化祭は、『努力と絆あふれるスマイル』というテーマのもとで開催され、芸能発表、学習展、売店・食堂、作品展示、弘前消防事務組合の体験コーナーと充実した内容で、１日中大盛り上がりの村民文化祭でした。



▲賑わいを見せる津軽ダムパネル展の様子▲



▲大人気の『煙体験ハウス』▲



▲東目屋中学校による芸能発表▲



▲村民の方々の作品が沢山並びました▲

～ 事故防止対策委員会総会 ～ を開催



平成３０年１１月２７日（火）西目屋村中央公民館において、『平成３０年度岩木川ダム統合管理事務所事故防止対策委員会総会』が関係企業１７社参加のもと開催されました。本総会は、現在施工中の工事・業務に従事する技術者が一堂に会し、安全意識の向上・徹底を図ることを目的に開催されたものです。

主催者挨拶に続き、弘前労働基準監督署菊地良英署長 から『労働安全衛生規則の改正(墜落制止用器具)等について』と題して安全講話が行われ、参加者は真剣に聞き入っていました。その後、事務局からの「議題」「情報提供」と続き、各企業の参加者は、これから本格的に冬の季節に突入する前にあらためて安全に対する心構えを再確認していました。



お知らせ

『新説！白神のいにしえ』展　開催中！



津軽ダム建設に伴い発掘された出土品を展示する企画展が、平成30年11月21日（水）から、青森県立郷土館で始まりました。『新説！白神のいにしえ』と銘打った企画展は来年1月20日迄開催されます。

縄文時代から白神の山々に生きた人々の営み、そして歩みを体感できる滅多に無い機会です。古に思いを馳せ、少しの時間、タイムスリップしてみませんか？



▲11月21日企画展初日の混雑の様子▲
（西目屋村から訪れた方々）

●日　　時：平成30年11月21日(水)▶平成31年1月20日(日)
　　９：００～１７：００
●会　　場：青森県立郷土館特別展示室（大ホール）
●観 覧 料：（12月まで）一般310円/高校・大学生150円
　　（１月から）一般250円/高校・大学生120円
※詳しくは、青森県立郷土館HPへ　URL http://www.kyodokan.com/

『岩木川ダム統合管理事務所』から年末年始のお知らせ

● 浅瀬石川ダム資料館 ●

12／29（土）～1／3（木）
休館いたします。

※ダムカードの配布は、浅瀬石川ダム管理支所で対応しますので、インターホンでご用命ください。

● 津軽ダム資料展示室 ●

12／29（土）～1／3（木）
休館いたします。

※ダムカードの配布は、岩木川ダム統合管理事務所で対応しますので、インターホンでご用命ください。

☆詳しくは、岩木川ダム統合管理事務所HPでご確認ください！

編集後記

平成29年4月に岩木川ダム統合管理事務所が開所し、早いもので2度目の冬を迎えています。今年は、津軽ダム景観講演会、津軽白神湖祭り、浅瀬石川ダム管理30周年記念シンポジウム等のイベントがあり、怒濤の平成３０年だったなあ、と感じています。これからクリスマス、年末年始とイベントが続きますが、車で帰省される方は安全運転に心がけゆっくりと静養をし、良い年をお迎え下さい。今年1年、浅瀬石川ダム・津軽ダムを訪れた方々に感謝します。ありがとうございました。（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061
岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/